

課題研究論文

「野外スポーツ学研究の現状と課題」

野外スポーツの特集にあたって

本学がスポーツを冠した日本初の大学として、また日本初の野外スポーツコースを設置した大学として3年が経ち、学生への教育活動だけでなく、地域貢献の面からも様々な取り組みを行ってきた。野外スポーツの専門家を育成するという目的だけでなく、あらゆる社会に通じる人材の育成を目指す中で、今後ますます野外スポーツが重要視されると同時にその研究成果についても広く社会にフィードバックされる必要がある。

本学では野外教育の持つ特性を活かし、スポーツに関わる学習をするすべての学生に対して、1年次にキャンプ・水辺・雪上実習を課している。とりわけオリエンテーションの機能を含み、教員の指導体制の下で行われるキャンプ実習は、スムーズな大学生活への移行、早い段階での人間関係構築等、多くの効果が期待される。ここでは、キャンプ実習の効果について黒澤が報告する。

飯 田 稔